

エコアクション21 環境活動レポート (2017年度版)



運用期間 2017年4月～2018年3月
発行日 2018年6月28日



 **土佐新高建設 株式会社**



目次

1.	組織の概要	-----	1
2.	対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	-----	2
3.	環境方針	-----	3
4.	環境管理組織体制	-----	4
5.	環境目標	-----	5
6.	環境目標の実績	-----	7
7.	本年度の環境活動計画と実績	-----	9
8.	環境活動計画の取組結果とその評価	-----	15
9.	次年度の環境活動計画の取組内容	-----	16
10.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	-----	18
11.	代表者による全体評価と見直しの結果	-----	21

1. 組織の概要

事業所名および代表者名

土佐新高建設株式会社
代表取締役社長 小住忠教

所在地

【本社】 高知県高知市北竹島町490 TEL.088-832-3931
【幡多営業所】 高知県四万十市三里1391 TEL.0880-38-2055

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者氏名 工事部長 吉村直則
連絡先担当者 工事部長 吉村直則
連絡先 TEL: 088-832-3931
FAX: 088-832-3536
E-mail: n-yoshimura@tosashinko.co.jp

事業内容

建設業（主に 道路、スポーツ施設等の舗装工事を行っております。）

建設業許可

許可番号 高知県知事 許可(特一27) 第 6237号
許可年月日 平成27年8月10日
建設業の種類 土木工事業 とび・土工工事業 石工事業
舗装工事業 しゅんせつ工事業 水道施設工事業

事業規模

設立 昭和 63年 4月
資本金 2,000万円
売上高(2017年4月1日～2018年3月31日) 910百万円
従業員数 37人(2018年6月1日現在)
事業所延べ床面積 本社:252 m² 幡多営業所:29 m²

会計年度

会計年度: 4月～3月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲(認証・登録範囲)】

全社の事業所及び現場

本社:高知県高知市北竹島町490 (常駐:28名)

幡多営業所:高知県四万十市三里1391 (常駐: 9名)

【全社への拡大時期】

2012年4月より全社での環境活動を行っております。

【レポートの対象期間】

2017年4月 ～ 2018年3月

【環境活動レポートの発行日】

2018年6月28日

(次回発行予定日=2019年 6月頃)

【作成責任者】

環境管理責任者 吉村直則

3. 環境方針

環 境 理 念

土佐新高建設㈱は、
〈 地球や地域の環境を守り、美しい地球を子供たちに引き継いでいくこと 〉
で環境に優しい社会を担う建設業者として、貢献していきます！！

環 境 方 針

- 1) 全社員に対して、環境方針を掲示等により周知させ、環境に関するの教育を行い、環境保全の重要性を高めるように啓蒙活動を行います。
- 2) *重機、車両の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
*建設作業及び本社業務における廃棄物排出量を削減します。
*本社業務における総排水量を削減します。
- 3) グリーン購入を進め、環境に優しい事業活動を行います。
- 4) 地域周辺に対する貢献及びボランティア活動へ積極的に参加します。
- 5) 環境関連法規並びに条例を遵守します。
- 6) 環境活動のP・D・C・Aを継続し、持続的に環境への負荷の低減を図ります。

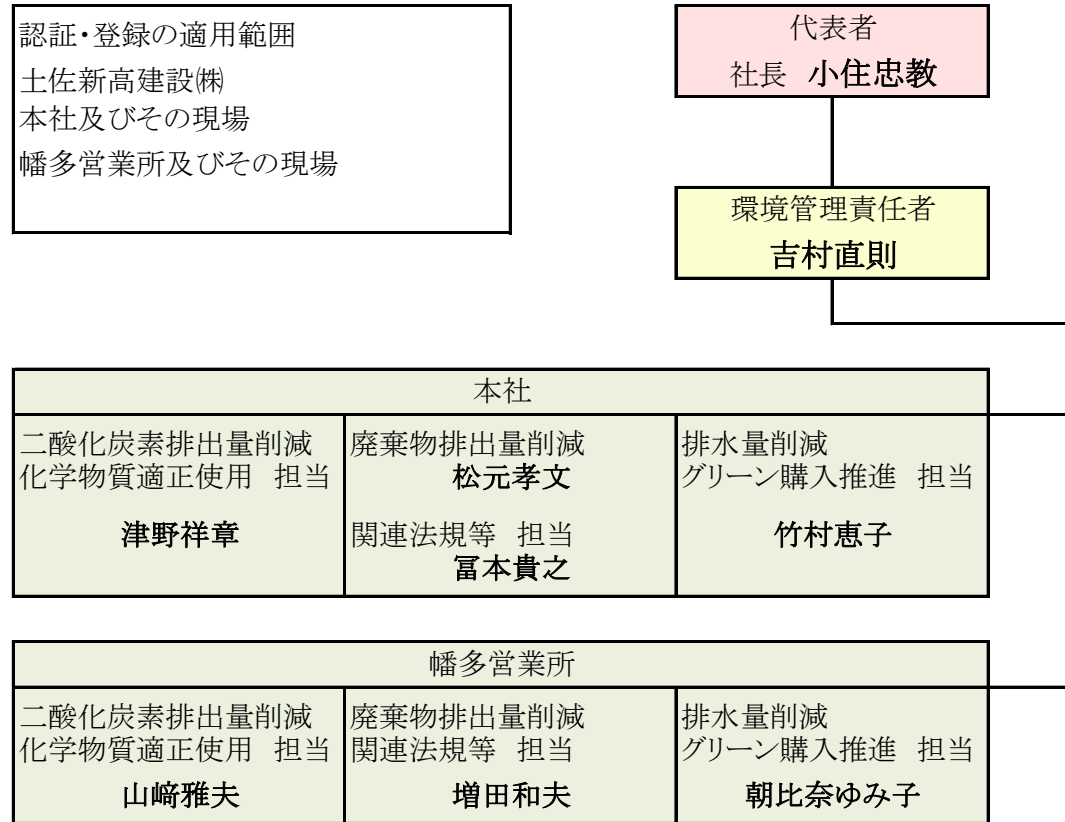
2011年4月1日

土 佐 新 高 建 設 株 式 会 社

代表取締役社長

小住忠敬

4.環境管理組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施に必要な 人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 環境管理責任者を任命。 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境活動レポートの承認。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理。 環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 環境目標・環境活動計画書を確認。 環境活動の取組結果を代表者へ報告。 環境活動レポートの確認。
ワーキンググループ	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進の事務局として機能する。 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 環境目標、環境活動計画書原案の作成。 環境活動の実績集計。 環境関連法規等取りまとめ表の作成。 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施。 自部門における環境方針の周知。 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成。テスト、訓練を実施、記録の作成。 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

5-(1). 環境目標

対象期間 2017年4月～2018年3月

昨年度設定した目標値を継続し使用します。

1. 2016年度 単年度目標

項目		単位	基準値	2017年度 目標
総量	二酸化炭素排出量 ※1	本社	190,885	183,250 (-4%)
		幡多	76,087	73,044 (-4%)
		合計	266,973	256,294 (-4%)
	燃料使用量	本社	64,418	61,841 (-4%)
		幡多	25,758	24,728 (-4%)
		合計	90,176	86,569 (-4%)
	電力使用量	本社	17,135	16,450 (-4%)
		幡多	18,165	17,438 (-4%)
		合計	35,300	33,888 (-4%)
	廃棄物総排出量	本社	4,119	3,954 (-4%)
幡多		274	263 (-4%)	
合計		4,393	4,217 (-4%)	
廃棄物再資源化率 ※2	本社	97.6	98以上	
	幡多	100.0	98以上	
	合計	97.7	98以上	
総排水量	本社	577	554 (-4%)	
	幡多	53	51 (-4%)	
	合計	630	605 (-4%)	
グリーン購入	全社	%	74.2	77% 以上
化学物質適正管理	全社	工事件数	使用を監視し、適正に管理する。	全工事

項目		単位	基準値	2017年度 目標
売上高 百万円 当たり	二酸化炭素排出量 ※1	本社	327	314 (-4%)
		幡多	527	506 (-4%)
		合計	366	351 (-4%)
	燃料使用量	本社	110	106 (-4%)
		幡多	180	173 (-4%)
		合計	124	119 (-4%)
	電力使用量	本社	30	29 (-4%)
		幡多	116	111 (-4%)
		合計	49	47 (-4%)
	廃棄物総排出量	本社	6.84	6.57 (-4%)
幡多		1.65	1.58 (-4%)	
合計		5.74	5.51 (-4%)	
環境負荷の少ない工事件 数割合 ※3	本社	100	100%	
	幡多	100	100%	
	合計	100	100%	

※1 購入電力のCO2排出係数は平成26年12月5日公表の四国電力の実排出係数0.699kg-CO2/kWhを使用する。

※2 廃棄物再資源化率 = (産業廃棄物再資源化量 + 一般廃棄物再資源化量) / (産業廃棄物量 + 一般廃棄物量)

※3 環境負荷の少ない工事とは、機械重量4t以上の機械は低騒音、排ガス対策型を使用する工事。

5-(2). 中・長期目標

項目		単位		基準値	2018年度 目標	2019年度 目標	2020年度 目標
総量	二酸化炭素排出量 (削減率%) ※1	kg-CO2	本社	190,885	181,341 (-5%)	179,432 (-6%)	177,523 (-7%)
			幡多	76,087	72,283 (-5%)	71,522 (-6%)	70,761 (-7%)
			合計	266,973	253,624 (-5%)	250,955 (-6%)	248,285 (-7%)
	燃料使用量	ℓ	本社	64,418	61,197 (-5%)	60,553 (-6%)	59,909 (-7%)
			幡多	25,758	24,470 (-5%)	24,213 (-6%)	23,955 (-7%)
			合計	90,176	85,667 (-5%)	84,765 (-6%)	83,864 (-7%)
	電力使用量	kWh	本社	17,135	16,278 (-5%)	16,107 (-6%)	15,936 (-7%)
			幡多	18,165	17,257 (-5%)	17,075 (-6%)	16,893 (-7%)
			合計	35,300	33,535 (-5%)	33,182 (-6%)	32,829 (-7%)
	廃棄物総排出量 (削減率%)	t	本社	4,119	3,913 (-5%)	3,872 (-6%)	3,831 (-7%)
幡多			274	260 (-5%)	258 (-6%)	255 (-7%)	
合計			4,393	4,173 (-5%)	4,129 (-6%)	4,085 (-7%)	
廃棄物再資源化率 ※2	%	本社	97.6	98以上	98以上	98以上	
		幡多	100.0	98以上	98以上	98以上	
		合計	97.7	98以上	98以上	98以上	
総排水量 (削減率%)	m3	本社	577	548 (-5%)	542 (-6%)	537 (-7%)	
		幡多	53	50 (-5%)	50 (-6%)	49 (-7%)	
		合計	630	599 (-5%)	592 (-6%)	586 (-7%)	
グリーン購入	%	全社	74.2	78%以上	79%以上	80%以上	
化学物質適正管理	工事件数	全社	使用を監視し、適正に管理する。	全工事	全工事	全工事	

項目		単位		基準値	2018年度 目標	2019年度 目標	2020年度 目標
百万売 円上 当高 り	二酸化炭素排出量 (削減率%) ※1	kg-CO2	本社	327	311 (-5%)	307 (-6%)	304 (-7%)
			幡多	527	501 (-5%)	495 (-6%)	490 (-7%)
			合計	366	348 (-5%)	344 (-6%)	340 (-7%)
	燃料使用量	ℓ	本社	110	105 (-5%)	103 (-6%)	102 (-7%)
			幡多	180	171 (-5%)	169 (-6%)	167 (-7%)
			合計	124	118 (-5%)	117 (-6%)	115 (-7%)
	電力使用量	kWh	本社	30	29 (-5%)	28 (-6%)	28 (-7%)
			幡多	116	110 (-5%)	109 (-6%)	108 (-7%)
			合計	49	47 (-5%)	46 (-6%)	46 (-7%)
	廃棄物総排出量 (削減率%)	t	本社	6.84	6.00 (-5%)	6.00 (-6%)	6.00 (-7%)
幡多			1.65	2.00 (-5%)	2.00 (-6%)	2.00 (-7%)	
合計			5.74	5.00 (-5%)	5.00 (-6%)	5.00 (-7%)	
環境負荷の少ない工事件 数割合 ※3	%	本社	100	100	100	100	
		幡多	100	100	100	100	
		合計	100	100	100	100	

※1 購入電力のCO2排出係数は平成26年12月5日公表の四国電力の実排出係数0.699kg-CO2/kWhを使用する。

※2 廃棄物再資源化率 = (産業廃棄物再資源化量 + 一般廃棄物再資源化量) / (産業廃棄物量 + 一般廃棄物量)

※3 環境負荷の少ない工事とは、機械重量4t以上の機械は低騒音、排ガス対策型を使用する工事。

6. 環境目標の実績

対象期間 2017年4月～2018年3月

※ 達成率=(実績値/目標値-1)*100 (%)

(数値がマイナスであればより削減できたことを表し、プラスであれば目標値に達しなかった事を表します。)

※ 基準値は、2012年度～2014年度の実績の平均値を取って設定したものです。

※ グリーン購入の目標値は、当社の主たる事業活動である舗装工事において使用する砕石とAs.合材の再生材料の使用率とすることに改めた。

各項目の総量の実績							
項目	単位	基準値	2017年度 目標値	2017年度 実績値	達成率 (%)	実績費用 (万円)	単価 (円)
二酸化炭素排出量	kg-CO2	266,973	256,294 (-4%)	284,769 (+6.7%)	+11.1	1,484	52
燃料使用量 (ガソリン+軽油)	ℓ	90,176	86,569 (-4%)	103,709 (+15.0%)	+19.8	1,295	125
電力使用量	kWh	35,300	33,888 (-4%)	26,866 (-23.9%)	-20.7	83	31
廃棄物総排出量	t	4,393	4,217 (-4%)	5,030 (+14.5%)	+19.3	497	988
廃棄物再資源化率	%	97.7	98 以上	96.8 (-0.9%)			
総排水量	m3	630	605 (-4%)	550 (-12.7%)	-9.1		
グリーン購入割合	%	74.2%	77% 以上	91% (+16.8%)			
化学物質適正管理	工事件数	使用時には 適正に管理する。	全工事	使用なし	-		
環境負荷の少ない工事件数割合 ※1	%	100%	100%	100%	100%		

※ = 目標を達成した項目

 = 目標を達成しなかった項目

※ 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省・経済産業省公表値による。

四国電力株 0.000529 t-CO2/kWh
プレミアムグリーンパワー(株) 0.000 t-CO2/kWh

※1 機械重量4t以上の機械は低騒音、排ガス対策型を使用する工事。

※ 集計の詳細は、「環境への負荷の自己チェック」による。

各項目の原単位(売上高百万円)当りの実績							
項目	単位	基準値	2017年度 目標値	2017年度 実績値	達成率 (%)	実績値-基準値	利益 (円)
二酸化炭素排出量	k g -CO2 /百万円	366	351 (-4%)	313 (-14.5%)	-10.8	△ 53	2,756
燃料使用量	ℓ /百万円	124	119 (-4%)	114 (-8.1%)	-4.2	△ 10	1,250
電力使用量	k W h /百万円	49	47 (-4%)	30 (-39.7%)	-36.2	△ 19	589
廃棄物総排出量	t /百万円	5.74	5.51 (-4%)	5.53 (-3.7%)	+0.4	△ 0.21	207
<p>2017年度の売上高は 910 (百万円)である。</p> <p>二酸化炭素排出削減の環境活動により、基準値に対し売上高百万円当たり¥2,756円のコストダウンを行っております。</p> <p>2017年度の売上910百万円あたりでは、2,756*910=2,507,960円の削減となります。</p>							

7. 環境活動の実績

日常の業務の中で、下記の項目の環境活動の計画を立て活動してまいりました。

 実施
 計画

対象期間 2017年4月～2018年3月

(1). 二酸化炭素排出量削減活動計画

部署	担当者	活動内容	目標値	2017年												2018年			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
本社 営業所	本社:竹村 幡多:朝比奈	昼休み・退社時の消灯。	電気代 前年度並																
		エアコンの温度は省エネ設定にする。(夏28℃・冬20℃)																	
		パソコンの電源はこまめに切る。オートストップ。																	
		事務所内は必要な箇所のみ点灯																	
現場	本社:津野 幡多:山崎 統括:津野	重機のアイドリングストップ運動を推進する。	燃料使用量 前年度並																
		作業指示書にEA21欄を設けてミーティングを行う。																	
		車両のエコドライブに努める。																	
		給油量を記録して燃費の計算をする。																	

2. 廃棄物排出量削減活動計画

部署	担当者	活動内容	目標値	2017年												2018年			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
本社 営業所	本社:松元 幡多:朝比奈	段ボール等を再生業者に出す。	ゴミ排出量 前年度比 -2%																
		ゴミを種類毎に計量し、記録をとる。																	
		ミスコピー紙の裏面再使用。																	
		両面印刷の徹底。																	
現場	工事担当者	再生砕石を使用する。	使用量ロス 8%以下																
		再生合材を使用する。																	
		運搬・処分委託契約	再資源化率 98%以上																
		処分場の確認																	
		マニフェスト伝票による管理を徹底																	

3.総排水量削減活動計画

部署	担当者	活動内容	目標値	2017年												2018年			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
本社	本社:山崎 幡多:朝比奈	蛇口締め忘れが無い確認	水道使用量 前年度比 -2%	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○			

4.グリーン購入

部署	担当者	活動内容	目標値	2017年												2018年			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
本社 営業所	本社:竹村 幡多:朝比奈	再生コピー紙を購入する。	文具購入代金の 96%以上	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺			
		エコマーク文具を選定購入する。		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺		
		コピー機カートリッジをリサイクル業者に渡す。	全数	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺		
現場	工事担当者	再生砕石を使用する。	使用量ロス 8%以下	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺			
		再生合材を使用する。		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺		
		元請工事の工事看板の一部に間伐材を活用する。	全工事	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺		

5.化学物質適正管理

部署	担当者	活動内容	目標値	2017年												2018年			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
現場	工事担当者	工事において使用する材料の化学物質を監視する。 化学物質を含む材料の使用、廃棄については事前に打合を行う。	全工事	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○	☺ ○			

6.地域貢献活動

部署	担当者	活動内容	目標値	2017年												2018年			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
全社	松元	ロードボランティア活動	年8回	☺	☺		○	☺	☺		☺	○	☺	○					
		88ウォークへの参加	毎年8月8日					○中止											
	工事担当者	現場周辺道路の清掃	工事施工日	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺			
	吉村	環境活動レポートの顧客、取引先への配布	改訂毎				☺												

7.自らが生産・販売・提供するサービスに関する事項

部署	担当者	活動内容	目標値	2017年												2018年			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
現場	工事担当者	機械重量4t以上の機械は低騒音、排ガス対策型を使用する	工事件数 90%以上	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺		
		施工計画書にEA21を明記する	全元請工事	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	

2017年度の環境活動トピックス

【 工事現場での清掃活動 】



現場の始業前に周りの道路の清掃を続けております。地元の方々と朝の挨拶を交わし、コミュニケーションを取っております。

【 地域貢献 】



県道高知はりまや線の清掃は、「高知県ふれあいの道づくり支援事業」のロードボランティアとして認定されております。

【非常時訓練】



2017年6月17日。
全従業員が集合して非常事態教育として避難訓練を行いました。

【環境ミーティング】



毎月、全従業員参加で「安全衛生環境協議会」を行っております。エコアクション21の活動に関することもここで話し合われます。

【環境対策(工法)】



県道高知本山線（愛宕通り）にて、よさこい祭りに先駆け、遮熱性舗装を施工しました。
工法の特長としまして路面温度の上昇を10℃以上抑制及び、わだち掘れ量が約1/2となり、舗装の寿命が約2倍に向上します。

「交通エコポイント活用社会還元事業」に協力

高知県地球温暖化防止県民会議が主催しております、「交通エコポイント活用社会還元事業」に協力しております。これは、子供たちが校外学習での移動の時に公共交通を無料で利用できるようにするものです。

8.環境活動計画の取組結果とその評価

対象期間 2017年4月～2018年3月

1.二酸化炭素排出量の抑制

基準年に対して工事出来高が増加しているのに伴い、二酸化炭素排出量の総量では増加しています。しかし、本年度の売上高に対する排出量は-14.5%であり、環境活動の成果が表れています。これを金額で試算すると、2,756（円/百万円）*910（百万円）=¥2,507,960-であり、環境活動を行うことで約250万円のコストダウンを行ったこととなります。

2.廃棄物総排出量の抑制

廃棄物総量についても、工事量の増加に伴い増加しております。舗装補修工事において、切削オーバーレイ工法が打換工法に変わる傾向にあり、廃棄する厚さが5cmから10cmになるので廃棄物の総量は多くなります。

2017年度には人工芝運動施設の撤去工事の受注があり、廃プラスチックの再資源化ができなかった為に会社全体としての廃棄物再資源化の割合が下がった結果となりました。

3.総排水量の抑制

事務所の節水に努め、目標値以上の抑制をしております。

4.グリーン購入

当社の主たる事業の舗装工事に使用する、砕石及びAs. 合材の使用量のうち、再生材料を使用する割合をグリーン購入の指標とします。今年度の目標として、使用する材料の77%以上を再生材料を使用することにしてはりましたが、実績は91%の材料を再生材料を使用しております。

5.化学物質の適正管理

現在のところ、工事に使用する資材としては化学物質を含有する物はありません。

6.環境活動、教育・訓練

予定しておりました活動計画は実行されております。各人の環境についての意識の持続を図るために、毎月の環境協議会における啓蒙、現場のミーティング時の指示書の活用を継続しております。

7.環境関連法規等の遵守

コンプライアンスの遵守は会社の存続にかかわります。今後とも事業の各部門で法令を遵守してまいります。

8.内部・外部コミュニケーション

工事現場における地元住民とのコミュニケーションが大変重要だとしております。都市計画道路朝倉駅針木線の道路拡張工事においては、当社と地元のコミュニケーションにより円滑に工事を進めることができたのは評価で来る事例だと思います。

2017年度1年間において、環境に関しての外部からの苦情はありませんでした。

9. 2018年度の環境活動計画の取組内容

環境方針、環境負荷及び環境への取組の把握・評価結果を踏まえ、環境活動計画を策定する。

1. 二酸化炭素排出量削減活動計画

部署	担当者	活動内容	目標値	備考
本社 営業所	本社:竹村 幡多:朝比奈	昼休み・退社時の消灯。	電気代 前年度並	継続
		エアコンの温度は省エネ設定にする。(夏28℃・冬20℃)		継続
		パソコンの電源はこまめに切る。オートストップ。		継続
		事務所内は必要な箇所のみ点灯		継続
現場	本社:津野 幡多:山崎 統括:津野	重機のアイドリングストップ運動を推進する。	燃料使用量 前年度比 -2%	継続
		作業指示書にEA21欄を設けてミーティングを行う。		継続
		車両のエコドライブに努める。		継続
		給油量を記録して燃費の計算をする。		継続

2. 廃棄物排出量削減活動計画

部署	担当者	活動内容	目標値	備考
本社 営業所	本社:松元 幡多:朝比奈	段ボール等を再生業者に出す。	ゴミ排出量 前年度比 -2%	継続
		ゴミを種類毎に計量し、記録をとる。		継続
		ミスコピー紙の裏面再使用。		継続
		両面印刷の徹底。		継続
現場	工事担当者	再生砕石を使用する。	再資源化率 98%以上	継続
		再生合材を使用する。		継続
		運搬・処分委託契約		継続
		処分場の確認		継続
		マニフェスト伝票による管理を徹底		継続

3. 総排水量削減活動計画

部署	担当者	活動内容	目標値	備考
本社	本社:竹村 幡多:朝比奈	蛇口締め忘れが無いか確認	前年度並	継続
				継続
				継続

4.グリーン購入

部署	担当者	活動内容	目標値	備考
本社 営業所	本社:竹村 幡多:朝比奈	再生コピー紙を購入する。	文具購入代金の95%以上	継続
		エコマーク文具を選定購入する。		継続
		コピー機カートリッジをリサイクル業者に渡す。		継続
現場	工事担当者	再生砕石を使用する。	使用量ロス8%以下	継続
		再生合材を使用する。		継続
		元請工事の工事看板の一部に間伐材を活用する。	全工事	継続

5.化学物質適正管理

部署	担当者	活動内容	目標値	備考
現場	工事担当者	工事において使用する材料の化学物質を監視する。 化学物質を含む材料の使用、廃棄については事前に打合を行う。	全工事	継続

6.地域貢献活動

部署	担当者	活動内容	目標値	備考
全社	松元	ロードボランティア活動	年8回	継続
		88ウォークへの参加	毎年8月8日	継続
		現場周辺道路の清掃	工事施工日	継続
		環境活動レポートの顧客、取引先への配布	改訂毎	継続

7.自らが生産・販売・提供するサービスに関する事項

部署	担当者	活動内容	目標値	備考
現場	工事担当者	機械重量4t以上の機械は低騒音、排ガス対策型を使用する	工事件数95%以上	継続
		施工計画書にEA21を明記する	全元請工事	継続

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社の事業に該当する環境関連法規等の遵守状況（法規）

対象期間 2017年4月～2018年3月

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	松元	遵守	2018/4/5
	第12条	○産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	松元	遵守	2018/4/5
	第12条の10、11項	○多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	松元	該当なし	2018/4/5
	第12条の三	○産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	松元	遵守	2018/4/5
	第12条の三7項	○マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	松元	遵守	2018/4/5
	第14条 第14条の一12項	○産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可（5年毎に更新） ○産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分表示、書面備付義務	期限切れ 3ヶ月前	松元	遵守	2018/4/5
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	松元	該当なし	2018/4/5
資源の有効な利用の促進に関する法律 （リサイクル法）	第4条	○土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	松元	遵守	2018/4/5
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	松元	遵守	2018/4/5
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	松元	該当なし	2018/4/5

騒音規制法	第5条 第14条	○騒音規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時 必要時	富本	遵守	2018/4/5
振動規制法	第5条 第14条	○振動規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時 必要時	富本	遵守	2018/4/5
消防法	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長 への許可 第1石油類 ガソリン:200ℓ 第2石油類 灯油、軽油:1,000ℓ 第3石油類 重油:2,000ℓ 第4石油類 潤滑油:6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	富本	該当なし	2018/4/5
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	富本	該当なし	2018/4/5
フロン類の使用の合理化及び 管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第19条 第5条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO2-t/年以上、事業所所管大臣への報告 ○定期点検の実施 エアコン:3.7kW以上50kW未満 エアコン:50kW以上 冷蔵機器、冷凍機:3.7kW以上	年1回 1回/3年 1回/年 1回/年	富本	該当なし	2018/4/5
浄化槽法	第10条 第11条	○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年1回の水質検査実施	年1回	富本	該当なし	2018/4/5
下水道法	第10条	○下水道に下水を流入させる為の排水管、 排水渠等の設置	必要時	富本	該当なし	2018/4/5
水質汚濁防止法	第12条	○事業所排出口における排水基準に適合しない 排出水の排出制限	必要時	富本	遵守	2018/4/5
	第14条の四	○事業者の責務 公共用水域又は地下水の水質汚濁防止の ための必要な措置の実施	必要時	富本	遵守	2018/4/5

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無 (法規)

2017年 4月 1日より 2018年 3月31日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

(10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無)

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 (条例)

対象期間 2017年4月～2018年3月

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	富本	遵守	2018/4/5
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	富本	遵守	2018/4/5
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	富本	遵守	2018/4/5
高知市火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	富本	該当なし	2018/4/5
四万十市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 環境負荷の低減、その他環境保全	必要時	富本	遵守	2018/4/5
四万十市四万十川の保全及び 振興に関する基本条例	第7条	○景観保全に関する届出 ・土石の採取 ・盛土、切土による土地の形状変更 ・屋外において土石、廃棄物、再生資源、 再生部品の蓄積、貯蔵する行為 ・天然林を伐採し、スギ・ヒノキの植樹 ・看板、広告板、サーチライト照明等の設置	必要時	富本	遵守	2018/4/5
幡多西部消防組合火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	富本	該当なし	2018/4/5

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無 (条例)

2017年 4月 1日より 2018年 3月31日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

11.代表者による全体評価と見直しの結果

対象期間 2017年4月～2018年3月

代表者による全体の評価と見直し

様式 KY-006-1

社長サイン

小住 忠 敬

情報の報告 (環境管理責任者による報告) 報告日: 2018年6月20日				社長の評価・指示 2018年6月20日																									
<p>[取組状況の報告]</p> <p>①関連法規等の遵守状況 環境関連法規等への違反、訴訟はありませんでした。</p> <p>②問題点の是正処置状況 今期内での問題点の是正はありませんでした。</p> <p>③前回までの社長の指示事項への対応 昨年度の指示の通り、工事の工期短縮により建設機械の稼働日数を減らし、二酸化炭素の排出量を抑制する努力を続けております。 2017年度の活動実績は下記のとおりです。</p>				<p>[環境方針] 環境方針の変更は行わない。 変更の必要性: 有 (無)</p>																									
<p>[目標・環境活動計画の達成状況]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値 達成状況</th> <th>環境活動 達成状況</th> <th>コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化炭素削減</td> <td>△</td> <td>○</td> <td>総排出量は増加しておりますが、売上高当たりの排出量は目標値より大幅に良い結果となりました。</td> </tr> <tr> <td>廃棄物削減</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>工事量の増加に伴い、廃棄物の排出量は増加しております。マニフェスト管理で適正に処分します。</td> </tr> <tr> <td>節水</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>目標値よりも節水しております。</td> </tr> <tr> <td>グリーン購入</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>引き続き再生砕石、再生合材を優先して使用し、資源の再利用に努めます。</td> </tr> <tr> <td>化学物質</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>該当する材料の使用はありませんでした。</td> </tr> </tbody> </table>				目標項目	目標値 達成状況	環境活動 達成状況	コメント	二酸化炭素削減	△	○	総排出量は増加しておりますが、売上高当たりの排出量は目標値より大幅に良い結果となりました。	廃棄物削減	×	○	工事量の増加に伴い、廃棄物の排出量は増加しております。マニフェスト管理で適正に処分します。	節水	○	○	目標値よりも節水しております。	グリーン購入	○	○	引き続き再生砕石、再生合材を優先して使用し、資源の再利用に努めます。	化学物質	○	○	該当する材料の使用はありませんでした。	<p>[目標・活動計画] 2015年度より3年間現在の環境目標で活動してきた。当社の事業の変化に適切ではないと思われる項目があれば目標値の変更も今後検討すること。 現在のところ、環境活動は有効に機能している。</p> <p>変更の必要性: 有 (無)</p>	
目標項目	目標値 達成状況	環境活動 達成状況	コメント																										
二酸化炭素削減	△	○	総排出量は増加しておりますが、売上高当たりの排出量は目標値より大幅に良い結果となりました。																										
廃棄物削減	×	○	工事量の増加に伴い、廃棄物の排出量は増加しております。マニフェスト管理で適正に処分します。																										
節水	○	○	目標値よりも節水しております。																										
グリーン購入	○	○	引き続き再生砕石、再生合材を優先して使用し、資源の再利用に努めます。																										
化学物質	○	○	該当する材料の使用はありませんでした。																										
<p>[周囲の変化の状況]</p> <p>①外部コミュニケーション記録より 本社、幡多とも苦情はありませんでした。</p> <p>②環境関連法規等の改訂動向 今期、当社の事業に関する環境関連法規制等の改定はありませんでした。</p>				<p>[環境経営システムの各要素] 2017年度になって環境活動の取りまとめの中にコスト比較を取り入れている。環境活動と経営をリンクした視点での取り組みは有効と考える。</p> <p>変更の必要性: 有 (無)</p>																									

社長の指示を受けての是正内容

環境目標を維持し、環境活動を継続します。

環境管理責任者: 吉村直則